

インターバンクの声（2015 年 1 月 9 日）

昨日、東京市場のドル円は、前日のニューヨーク市場で米長期金利が上昇傾向となったことや12月のADP雇用統計の内容も強かったため、ドルの買い戻しが目立っていた流れを引き継いでドルの買い戻しが続いた。ニューヨーク市場終盤に一旦調整的なドル売りに戻りかけた局面もあったが、不安視されていた日経平均が大きく上昇したこともあってロンドン市場に渡る前には120円超えに迫るレベルまで上昇した。ロンドン、ニューヨーク市場でもこのままの流れが続くかとも思われたが、前日と同じ雇用関連の米新規失業保険申請件数が市場予想を下回ってしまったことで、またしてもドルの売り戻しとなってしまった。どうも今晚の米雇用統計の発表まで再度の120円超えトライは持越しとなってしまったのかも知れない。米雇用統計の結果が市場予想通り、或いは越えるような場合での120円超えがあっても、前回120円超のレベルで売り損なった実需筋やドル円取引に影響するユーロ円の大幅な下落があれば、120円に乗せた後の上昇余力が削がれるのではないかと気になる部分もある。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。